

# 景況感指数からみた米国と中国



シニア・ストラテジスト 石黒英之

## ポイント① 中国の景況感は4月を底に改善

5月31日に中国では5月の製造業PMIが発表され、4月を底に中国景気が改善に向かっていることが確認されました。5月の同PMIは49.6と4月の47.4から上昇し、市場予想（49.0）を上回る内容となったほか、非製造業PMIも47.8と4月の41.9から大きく上昇しました。

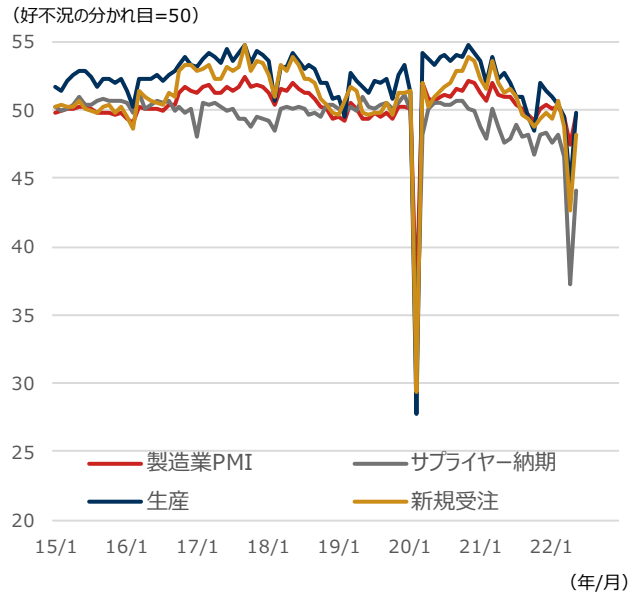
製造業PMIの内訳をみると、「サプライヤー納期」や「生産」、「新規受注」などが大きく改善しており、ゼロコロナ政策により落ち込んでいた中国の経済活動が正常化に向けて動き出しつつあることが確認されました（右上図）。好不況の分かれ目である50を依然下回った状態ではありますが、6月に入り、上海市が都市封鎖を解除するなど、中国経済は回復基調に回帰する可能性が高く、それに伴い供給網の混乱も徐々に解消に向かうと考えられます。

## ポイント② 米国の景況感は高水準を維持

米国でも景況感が底堅さを保っています。6月1日に発表された、5月のISM（米サプライマネジメント協会）製造業景況感指数は56.1と4月の55.4から上昇したほか、市場予想（54.5）も上回りました。同指数の内訳をみると、「入荷遅延」が低下し、「生産」が上昇するなど、供給網の混乱問題に起因する過度なインフレ懸念が和らぐ兆しがみえました。また、「新規受注」も上昇しており、急ピッチな利上げが行なわれている環境下でも経済が良好な状態にあることが示された形です（右下図）。

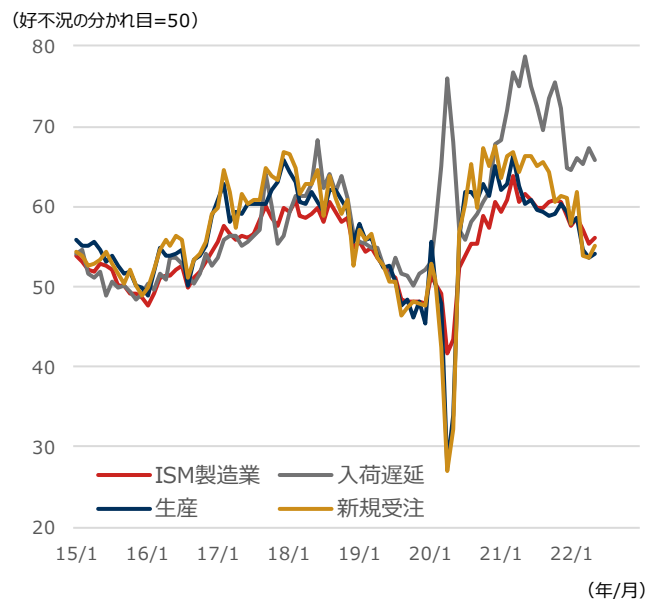
厳格なゼロコロナ政策を実施している中国と、利上げを加速している米国に対する景気不安が市場の波乱要因となってきました。ただ、今回の両国の景況感指数は、こうした過度な不安を和らげる内容だったといえそうです。

### 中国製造業PMI（購買担当者景気指数）と内訳



期間：2015年1月～2022年5月、月次  
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

### ISM製造業景況感指数と内訳



期間：2015年1月～2022年5月、月次  
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

\*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。